

## 1. 略歴

- 1984年4月 東京大学文科Ⅲ類入学
- 1988年3月 東京大学文学部社会心理学専修課程卒業
- 1988年4月 株式会社 日本長期信用銀行 入行
- 1992年4月 東京大学大学院社会学研究科社会心理学専攻修士課程入学
- 1994年3月 同 修了 (修士(社会心理学))
- 1994年4月 東京大学大学院社会学研究科社会心理学専攻博士課程進学
- 1997年3月 東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻博士課程単位取得退学
- 1998年4月 京都大学総合人間学部基礎科学科 助手 (2000年3月迄)
- 1999年3月 東京大学大学院人文社会系研究科 博士 (社会心理学)取得
- 2000年4月 岡山大学文学部行動科学科 助教授
- 2001年4月 岡山大学大学院文化科学研究科産業社会文化学専攻 助教授 (兼任)
- 2004年4月 横浜国立大学経営学部 助教授
- 2005年4月 横浜国立大学大学院国際社会科学研究科 助教授
- 2007年4月 横浜国立大学大学院国際社会科学研究科 准教授
- 2011年4月 横浜国立大学大学院国際社会科学研究科 教授
- 2011年10月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

社会心理学

### b 研究課題

- 1) 関係性の類型と拡張自己評価維持過程 (国際比較研究)
- 2) 伝統慣行の維持・変容過程 (社会生態学的アプローチによる事例研究)
- 3) 組織・集団規範の生成と再生産過程

### c 主要業績

#### (1) 著書

辞書・辞典・事典、村本由紀子、『実験社会心理』(社会調査協会編『社会調査事典』)、丸善出版、2014.1  
共著(分担執筆)、村本由紀子、『文化』(唐沢かおり編著『新社会心理学:心と社会をつなぐ知の統合』 pp.131-148)、  
2014.3

#### (2) 論文

Yukiko Muramoto, 「Achievement, attribution, and the role of the self and relationship.」、『U. Kim & Y.-S. Park (Eds.), Asia's Educational Miracle: Psychological, Social, and Cultural Perspectives. (Conference Proceedings)』、(in press)、2013

Yukiko Muramoto, 「Achievement attribution in individual and group contexts: The role of relationship as a system of self-esteem maintenance.」、『U. Kim, S.-C. Choi, & G.-H. Cho (Eds.), Post-modern psychology: Indigenous, social, and cultural perspectives. (Conference Proceedings)』、(in press)、2013

村本由紀子、『離島漁村『寝屋慣行』の維持と変容:社会心理学からのアプローチ』、『文化交流研究』、第26巻1号、  
1-10頁、2013.3

#### (3) 書評

釘原直樹、『グループ・ダイナミックス:集団と群集の心理学』、有斐閣、『社会心理学研究』、第27巻第3号、194-  
195頁、2012.3

#### (4) 学会発表

国内、池田真季・村本由紀子・正木郁太郎・品田瑞穂・二木望・岡田真波、「集団主義は異なる意見を排除するのか: 集団主義が寛容性に与える正の効果」、日本社会心理学会第53回大会、つくば国際会議場、2012.11  
国内、正木郁太郎・山口勸・村本由紀子、「集団目的と対立する集団規範へのコントロール行動と、集団主義の関係の検討」、日本社会心理学会第53回大会、つくば国際会議場、2012.11

国内、村本由紀子、「リターン・ポテンシャルモデル再考」、日本社会心理学会第 53 回大会、つくば国際会議場、2012.11.17

国際、Yukiko Muramoto & Yumi Endo、「A socio ecological approach to a quasi-family relationship in a remote island in Japan」、10th Conference of Asian Association of Social Psychology、Yogyakarta, Indonesia、2013.8

国際、Maki Ikeda, Yukiko Muramoto, & Yoshihisa Kashima、「Do We See the Same World?: Different Explanation for Valenced Behaviors by East-West Cultures」、10th Conference of Asian Association of Social Psychology、Yogyakarta, Indonesia、2013.8

国内、正木郁太郎・村本由紀子、「集団規範の再生産プロセスに関する事例研究」、日本社会心理学会第 54 回大会、沖縄国際大学、2013.11

国内、池田真季・多湖淳・村本由紀子、「国連決議・多国籍軍が自衛隊の海外派遣支持に与える効果」、日本社会心理学会第 54 回大会、沖縄国際大学、2013.11

国内、館野洋輔・村本由紀子、「他者との親密度が透明性の錯覚に及ぼす影響」、日本社会心理学会第 54 回大会、沖縄国際大学、2013.11

国内、村本由紀子、「「規範」研究の方法論としてのマイクロ・エスノグラフィーの可能性」、日本社会心理学会第 54 回大会、沖縄国際大学、2013.11.2

(5) 会議主催(チェア他)

国内、「日本社会心理学会第 53 回大会・自主企画ワークショップ」、主催、規範の測定と可視化への再挑戦、つくば国際会議場、2012.11.17

国際、「10th Conference of Asian Association of Social Psychology」、チェア、Adolescents' Relationship、Yogyakarta, Indonesia、2013.8.21~2013.8.24

国内、「日本社会心理学会第 52 回大会・自主企画ワークショップ」、主催、規範の測定と可視化への再挑戦 (2):「個人の認知を超える」試み、2013.11.2

(6) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 (C)、村本由紀子、研究代表者、「関係性の類型と拡張自己評価維持過程」、2011~2014

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 (C)、村本由紀子、分担研究者 (研究代表者は東大外)、「職業教育・訓練の日欧比較研究: エンployアビリティとキーコンピテンシー開発の分析」、2012~2014

### 3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、セミナー、NTT データ経営研究所 応用脳科学アカデミー、「企業経営における「心と文化」: 社会心理学からのアプローチ」、2012.2

非常勤講師、九州大学、「社会心理学」、2012.4~2012.9

非常勤講師、放送大学神奈川学習センター、「こころと社会」、2012.10~2013.3

非常勤講師、筑波大学、「「心と文化」研究の成果と展望」、2013.9~

非常勤講師、放送大学神奈川学習センター、「木を見る西洋人 森を見る東洋人」、2013.10~2014.3

(2) 学会

国内、日本社会心理学会、常任理事、大会運営委員長、2013.4~

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

独立行政法人、宇宙航空研究開発機構、行動科学研究分科会委員、2012.11~